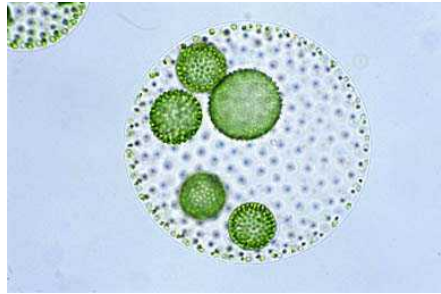


科学をもっと知ろう！

かがくナビ

ボルボックス

ボルボックスは、淡水産の緑藻類の仲間で「オオヒゲマワリ」という和名で呼ばれることもあります。1000～20000個の細胞が一層に並んでいて中は空になっています。5月上旬から10月にかけて、比較的きれいな池や沼、水田などで見られます。



ボルボックスのからだは、クラミドモナスという単細胞生物の集まりで「細胞群体」と呼ばれています。直径は、0.3～0.8mm 表面には鞭毛が生えていてくるくると回りながら移動します。群体の中にある緑色のものは娘群体です。

生殖方法として、春から秋にかけては群体内に娘群体を形成して無性生殖を行います。また、秋から冬にかけては、水田は乾燥した状態になり、湖や池の水は凍ったりします。このときボルボックスは乾燥や寒さに耐える細胞をつくります。群体内に卵細胞と精子を形成し、有性生殖である受精を行います。受精卵は薄い膜に包まれた乾燥に強い接合子を形成し、その状態で冬を越し、春になると発芽します。

